

な ならしの ら た はたらく く



～夢に向かって共に働く願いを込めて～

～はじめて障がい者雇用に取り組んで～

企業の方は障がい者雇用について、「ハード面で難しい」「社員の理解が…」といったイメージを持つ事があるようです。そこで今回は、初めて障がい者雇用に取り組んだ「アシザワ・ファインテック株式会社」の芦澤社長から、「障がいのある方を雇用するまで」についての生の声をお届けします。

・当社は障がいのある方を採用した経験はなく、どう進めたら良いかと悩んでいました。そこで出会ったのが、障がいのある方の就労支援施設「あかね園」さんです。障がいのある方を採用したら企業と本人だけで問題を解決するしかないと思っていた私にとって、「あかね園」の存在は大変大きな支えとなりました。

・「あかね園」に実際の訓練の様子を見学に行くと、利用者の皆さんの挨拶や仕事に対する姿勢は障がいのない人以上に素晴らしく、「自立・自律」に対する意気込みを感じる事が出来ました。見学中に見かけた「給湯器解体」の作業は当社機械の分解・洗浄作業に通じるものがあり「この仕事なら障がいのある方にもお願いできるのでは」と、当社でお任せする仕事のイメージを描くこともできました。

・実は、受入側である当社の社員の反応は、最初は不安そのものでした。私自身も「あかね園」に伺うまでは「今いる社員の負担になってはいけない」という思いから、障がい者雇用に消極的でした。しかし、機械に興味があるという知的障がいのあるSさんをまずは10日間の実習生として受け入れたところ、社員の反応は一変します。普通に言葉を交わし、仕事の覚えも早いSさんに指導役として付いた社員は「障がいのない人と全く変わらない、十分一緒に仕事ができる」と言ってくれました。これまで障がいのある方と関わる事のなかった社員たちにとっても、とても良い勉強になりました。その結果当社は、11月から晴れてSさんを社員として採用することにいたしました。

・私が今回一番強く感じたことは「障がいのある方は戦力だ」ということです。中小企業には福祉の一環として障がいのある方を雇用する余裕は乏しいですが、当社は障がいのある方を会社に貢献する貴重な人材として期待しています。他の社員と同様に障がいを個々の特性や能力と捉えて、得意な仕事に従事してもらおうつもりです。



社内の実習事前説明会では「あかね園」の方にも来社頂き説明を聞く中で社員の安心にも繋がりました。



実習中も定期的に「あかね園」の方が来社し、助言等をいただくことで実習はスムーズに終了しました。



アシザワ・ファインテック株式会社
機械製造業 従業員数 146名
習志野市茜浜 1-4-2

コロナに負けるな! ~それぞれの就労支援の現場から~

新型コロナウイルス感染症の流行が私達の生活に与えた影響は大きく、昨年まで年 3 回発行していた「ならたく」も、今年は 8 月号を見送り、この度 8 ヶ月ぶりに発行させていただくこととなりました。そこで今回は、この間に私達が日頃働いている現場で見聞きした、障がいのある方の就労を取り巻く状況についてお伝えいたします。

【ハローワーク】企業の求人は 7 月以降戻ってきたものの、求職者への紹介件数が就職件数の増加に繋がらない傾向が続いています。電車等での通勤を避けるために都内の求人への応募が敬遠され、県内の近隣エリアの求人へ応募が集中しているものと思われ、この部分のマッチングが今後の課題であると考えます。

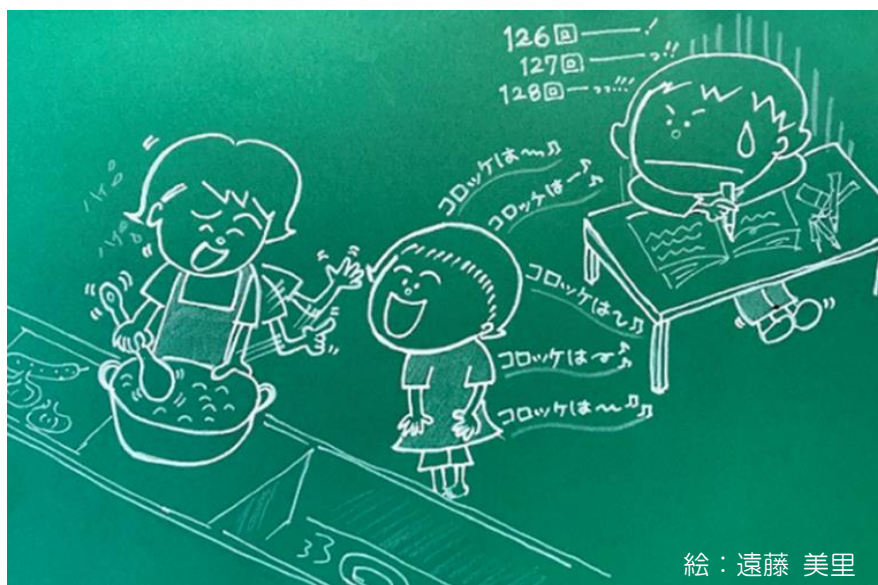
【働く障がいのある方】「余暇の過ごし方」についての悩みごとが増えました。真面目で感染予防の意識の高い方が不要不急の外出を控え、職場と自宅を往復するだけの生活に陥ってしまったためです。“楽しみ”の喪失は働く意欲にも影響するため、「新しい生活様式」の中で仕事以外の時間をどう過ごすかということが課題となっています。

【特別支援学校】6月より学校が再開。校舎に生徒さんたちの笑顔や元気な声が戻りました。卒業を控えた高等部 3 年生は、2学期より「産業現場等における実習」に随時臨み、学校で培った力を企業等の現場で試すことを通じて、卒業後の自立に向けて取り組んでいます。

社会全体で厳しい状況が続いてはいますが、これからも私たちは職場やそこで働く人たちと共に歩んで参ります。今後ともよろしく願いいたします。(就労支援部会 武井)

子ども達とあるある

わたしたちは、『きらっといっぱの会』(※♪)です。市のホームページに子育てエピソードを連載しています。子育ては障がいのある子もない子もいっしょです。ぜひごらん下さい!



コロケ連呼 128 回

当時小4の娘が明日の放デイ(※♪)でコロケを買いに行くのを楽しみにし、「コロケは?」を連呼。はじめのうち母親は「楽しみだね」「わかったヨ」と対応していましたが、そのうち母親が聞き流すようになると、2歳上の姉が「コロケは?」の回数を数え始めました。夕方から就寝までの間に数えただけでも 128 回!

「もううるさい!」と言いかけてましたが、長女の発想の転換から学ばされました。同じことを繰り返し言うことを止めさせようとするばかりではなく、とことん耳を傾ける時があってもいいですよ。毎回はできませんが(笑)

利用
してます!!



(※♪)放デイ:放課後等デイサービスの事。
発達に支援の必要な子たちが放課後や
長期休みに通える福祉サービス

(※♪)『きらっといっぱの会』市の発達支援施策について市民と市が協働で推進を図っていく”市民協働こども発達支援推進協議会”から生まれた会です。



他のエピソードも絶賛公開中!
このQRコードから
ホームページをご覧ください

【お問い合わせ】習志野市障がい者地域共生協議会 (通称「ならとも」)

…障がい当事者の家族、福祉事業所、行政機関の職員等が集まり、障がい者の地域生活を支えるための活動や検討会を行っています。

事務局: 習志野市 障がい福祉課 習志野市鷺沼 2 丁目 1 番 1 号
電話 047 (453) 9206 FAX 047 (453) 9309

ならたく 習志野 検索